

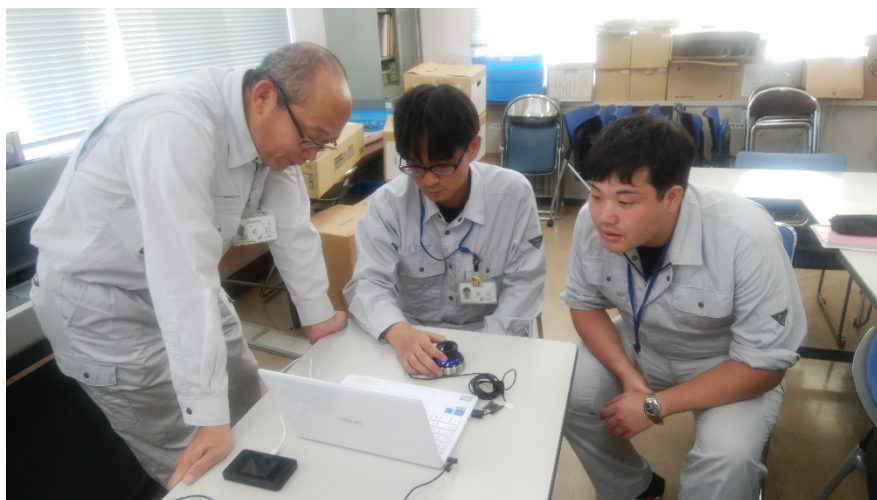
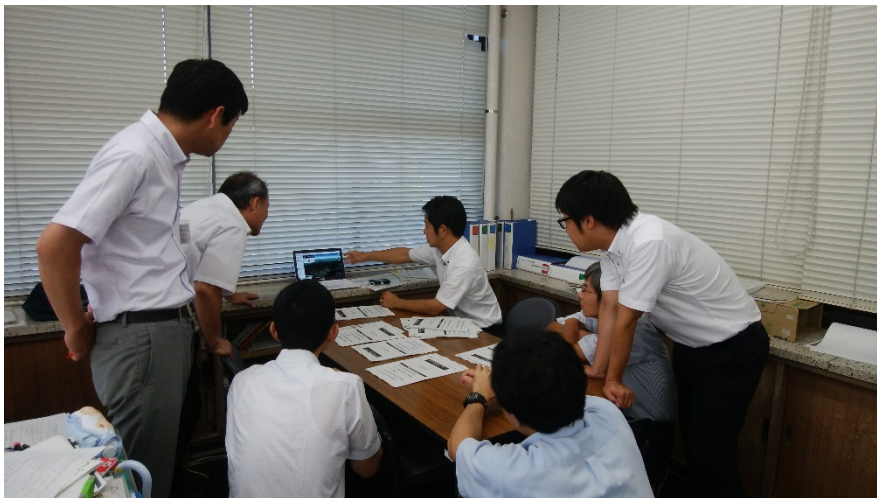
# 「i-都市再生」

～共感・共有・新たな発見につながる  
コミュニケーションツール～

広島県 三原市  
経営企画課

# 1. 庁内での活用①

## 庁内関係部署にシステムの説明



- (左上)経営企画課にて報告
- (右上)生活環境課にて操作説明(地域公共交通等を所管)
- (左下)都市開発課にて操作説明(都市計画, 立地適正化計画等を所管)

# 1. 庁内での活用②

長期総合計画後期基本計画策定に向けた庁内会議で将来像や市の特徴・構造を共有



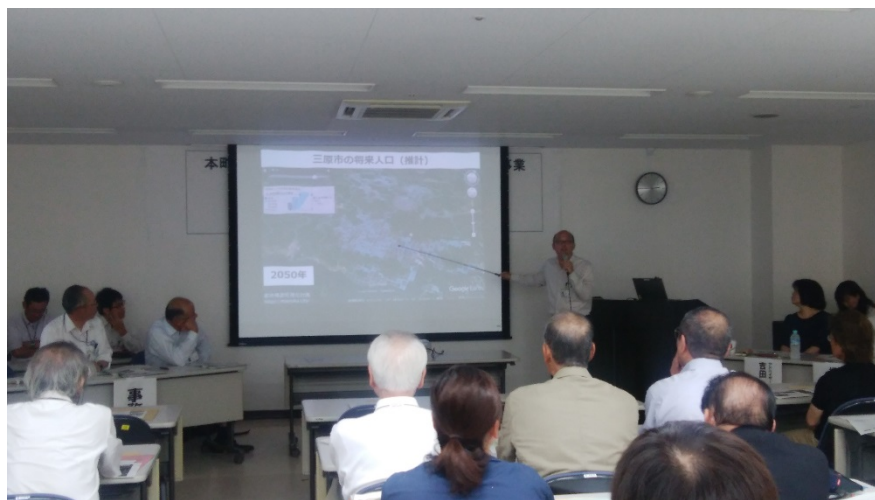
## 【共有した事項】

- 人口の低密度化(都市のスポンジ化)
- 公共交通のあり方
- 市の経済拠点性 など



## 2. 外部での活用①

### 市民向け「まちなみづくりワークショップ」で当該地域の将来の姿を共有



i-都市再生自治体等交流会議

2018/9/26

魅力ある「まちなみづくり」事業  
概要説明  
平成30年9月29日  
三原市

1 立地適正化計画

三原市の人口の経年変化

2010年

三原市の将来人口（推計）

2050年

三原市の将来人口（推計）【本町地区拡大】

2050年

人口の経年変化と将来推計の  
まとめ

- 三原市の人口は昭和60(1985)年の約111,000人をピークに減少
- 拡大型の都市政策による市街地の拡大
- 三原市・市街地の全体で人口減少、高齢化の進行が想定される

1

## 2. 外部での活用②

市内県立高校での出前講座で市の将来の姿を共有





## 2. 外部での活用③

市民活動団体とのコミュニケーションツールとして活用  
⇒ミハラサイエンス遊園地(H30.10.13～14)で活用



3Dマウスで

travel360



ミハラ  
サイエンス  
遊園地 2018



### 3. 今後に向けて

- ①これまで、「共感」・「共有」・「見える化」・「新たな課題発見」に重点を置き、できるだけ多くの人たちとコミュニケーションをとるためのツールとして活用を検討してきた。
- ②その結果、市民にとっても、分かりやすく受け入れやすいシステムであることが分かった。
- ③市の施策においては、
  - ・長期総合計画後期基本計画の策定
  - ・地域公共交通網形成計画の改定
  - ・公共施設マネジメントの観点からの活用
  - ・中心市街地活性化の観点からの活用
  - ・消防広域化の観点からの活用    などの意見が出ている
- ④来年度以降も継続して利用できるよう機器等の調達へ



# 広島県 三原市 経営企画課